

# 福井県感染症発生動向調査速報

<<平成18年>>

<週報> 第19週 (平成18年5月8日～5月14日)

発行日：平成18年5月17日

発行：福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

## 注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎241名(10.95名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎60名(2.73名) 咽頭結膜熱32名(1.45名) 水痘30名(1.36名) 流行性角結膜炎3名(1.0名) ( )内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(241名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(60名) 咽頭結膜熱(32名) 水痘(30名) 突発性発しん(16名) 流行性耳下腺炎(16名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は241名です。定点当たり患者報告数は増加しました(10.0名 10.95名)。地域別にみると福井地区21.14名、坂井地区9.33名、丹南地区8.4名、二州地区5.0名、奥越地区4.0名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は60名です。定点当たり患者報告数は増加しました(1.91名 2.73名)。地域別にみると奥越地区4.5名、二州地区4.0名、丹南地区4.0名、坂井地区3.0名、福井地区1.43名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は32名です。定点当たりの報告数は減少しました(1.77名 1.45名)。地域別にみると二州地区2.67名、福井地区2.0名、坂井地区1.33名、丹南地区1.0名、奥越地区0.5名の順となっています。
- 【水痘】報告数は30名です。定点当たりの患者報告数は減少しました(1.50名 1.36名)。地域別にみると丹南地区2.4名、福井地区2.0名、奥越地区1.5名、二州地区0.33名の順となっています。

## 感染症週報全国版の要点

2006年第16週号(4月17日～4月23日)要点

発生動向総覧	<第16週> マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<麻しん> 感染症発生動向調査では2001年をピークとして、その後年々減少し、2005年の累積報告数は545と過去最低を記録した
病原体情報	冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2005/06シーズン/インフルエンザウイルス2005/06シーズン
速報	関東における麻しんの集団発生/オウム病1999年4月～2006年第12週(2006年3月31日現在)/県内北部で地域流行が認められた手足口病の患者から検出されたEV71 - 宮城県
海外感染症情報	<今週は該当記事はありません>
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
全国版の要点は、5月17日現在で最新のものです。

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:レジオネラ症1名報告がありました。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)]		平成18年 第19週				平成18年5月8日(月)~平成18年5月14日(日)				
定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(18週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	5 0.45		2 0.5		5 1.67		12 0.38	14 0.44	4100 0.94
小児科 (22)	RSウイルス感 染症								4 0.18	101 0.03
	咽頭結膜熱	14 2.00	4 1.33	8 2.67		1 0.5	5 1	32 1.45	39 1.77	1343 0.45
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	10 1.43	9 3.00	12 4.00		9 4.5	20 4	60 2.73	42 1.91	5231 1.76
	感染性胃腸炎	148 21.14	28 9.33	15 5.00		8 4	42 8.4	241 10.95	220 10.00	14620 4.91
	水痘	14 2.00		1 0.33		3 1.5	12 2.4	30 1.36	33 1.50	5908 1.98
	手足口病	1 0.14		2 0.67			1 0.2	4 0.18	2 0.09	470 0.16
	伝染性紅斑						3 0.6	3 0.14	1 0.05	1146 0.38
	突発性発しん	5 0.71	1 0.33			2 1	8 1.6	16 0.73	6 0.27	1396 0.47
	百日咳									18 0.01
	風しん									9 0.0
	ヘルパンギー ナ	1 0.14					4 0.8	5 0.23	3 0.14	550 0.18
	麻しん(成人麻し んを除く)									25 0.01
流行性耳下腺 炎	1 0.14		5 1.67		9 4.5	1 0.2	16 0.73	7 0.32	3808 1.28	
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎									16 0.03
	流行性角結膜 炎	2 1.00					1 1	3 1.00	2 0.67	505 0.81
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									4 0.01
	無菌性髄膜炎									5 0.01
	マイコプラズマ肺 炎	1 0.5						1 0.17	1 0.17	99 0.23
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									0
	成人麻しん									2 0.00

インフルエンザは、小児科定点+内科定点  
細字は定点当たり患者数  
(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。